

Course number		U-LAS05 10007 LJ23					
Course title (and course title in English)		人文地理学 Human Geography		Instructor's name, job title, and department of affiliation		Graduate School of Human and Environmental Studies Professor, OGATA NOBORU	
Group		Humanities and Social Sciences		Field(Classification)		Regions and Cultures(Foundations)	
Language of instruction		Japanese		Old group		Group A	
				Number of credits		2	
Number of weekly time blocks		1		Class style		Lecture (Face-to-face course)	
				Year/semesters		2025・First semester	
Days and periods		Mon.3		Target year		All students	
				Eligible students		For all majors	
[Overview and purpose of the course]							
環境と人間生活の相互作用を扱う。地球上をマクロに見れば，人々の生活様式は，気候と関連している。また，地表をミクロに見れば，人々は地形に応じて土地を使い分けていることがわかる。このような自然環境と人間の経済・社会生活との関係について研究事例を紹介する。							
[Course objectives]							
環境と人間生活の関係について，時代・地域に応じた多様性への認識を深めることを目標とする。							
[Course schedule and contents)]							
§ 1．環境の学　　地理学を環境と人間生活の相互作用についての学問としてとらえなおし，文明の発達における環境条件の重要性を論じた研究を紹介する。 § 2．環境保全の営為　　日本人は古代から，河川水の安定供給のためには上流域における森林被覆の保全が重要であると認識してきた。環境保全の営為について，古今の事例を紹介する。 § 3．等質地域と機能地域　　地域をある種の空間的まとまりと考える場合，その画定基準として場所の等質性に着目する見方と，場所間の結びつきに着目する見方とがある。両者について比較考察する。 § 4．基礎地域　　地域を構成する最小構成単位について考察する。日本では，水田における稲作が主たる生業であったが，稲作を行うムラを組織化する原理として水利によるつながりなどがあった。こうした事例をもとに，地域の最小構成単位を論じる。 § 5．地形と土地利用　　比較的ミクロなスケールにおける地形と土地利用の関連について，地形図の判読およびコンピュータを用いたデータ処理・表示を通して説明する。 § 6．平和領域　　旧約聖書に述べられた「逃れの町」など，空間（および時間）における不可侵性について，古今の事例を紹介する。 その他のトピックを，随時取り上げる。							
[Course requirements]							
None							
Continue to 人文地理学(2) ↓ ↓ ↓							

人文地理学(2)

[Evaluation methods and policy]

筆記試験などによる。また，出席確認を兼ねて，予告なしに小テスト・アンケートなどを行う場合がある。

[Textbooks]

Not used

[References, etc.]

(References, etc.)

Introduced during class

(Related URL)

<http://www.hgeo.h.kyoto-u.ac.jp/ogata/>(小方研究室ホームページ)

[Study outside of class (preparation and review)]

毎回の授業を復習し，授業中紹介した文献等を必要に応じ参照すること。

[Other information (office hours, etc.)]

地図帳（高校の時に使用したものなど）を受講時に持参することが望ましい。

[Essential courses]